



Words by S.Kendo.

Music by Schubert.

Allegretto.

Piano

御代の春秋

卒業式歌 (卒)

サ ム リ テ サ ム  
モ (卒) フ サ  
ツギ ム  
ヘ ム ツカ  
サ ソ ナ タ  
リ キ  
ト ケ シ  
モ ナ ツ  
モ イ ア  
テ (在) ケ  
シ サ チ  
ミ シ カ  
ス ス カ  
カ ナ ト  
ハ セ モ  
マ カ  
ヤク ガ

1 御代の春秋

犬童信藏作歌

1 1 1  
み山はかすみ、百鳥囀り、  
咲く花かをりて、若草野に満つ。ながめのぞか。  
雲居るみそらにのぼるひばり、花より花へとをどる胡蝶、  
心もみそらにひらり。  
あ、春よ、あ、ながめのぞか。  
2 2  
見渡す山々緑もいと濃く、  
そよふく涼風裳裾を拂ひてながめ涼し。  
川邊の眞垣に笑めるあやめ、清けき小川に泳ぐ童子、  
見るから心も水に浮ぶ。  
あ、夏よ、あ、ながめ涼し。  
3 3  
吹く風涼しく稲葉にそよぎて、  
群れ居る雀も豊年喜ぶながめゆたか。  
垣根の虫の音聲もすみて、露おく草葉に眞玉亂れ、  
黄金の海原遠くつづく。  
あ、秋よ、あ、ながめゆたか。  
4 4  
鏡とあざむく小庭の池の面、  
雪かま見まがふあしたの初霜ながめ清し。  
時じく木の花、枝にふだれ、玉なすすだれは軒に垂れて、  
睡生の住居も玉の産。  
あ、冬よ、あ、ながめ清し。

◎注意 御代の春秋・御代の春夏・御代の夏秋・御代の秋冬、  
とにかくステータスでは右の中二節を……

1 卒業式歌

犬童信藏作歌

(卒業生) (在校生)  
眞金もさかさん 暑けき夏も  
吹く風身をさる 寒けき冬も  
(合唱) (卒) 今日こそ終へたれ學びのわざ  
(在) 我師の御恩 友の恵 あ、いつの時が  
あ、忘るべしや。  
2  
(卒) たごらん山路は 険しく高く  
(在) 根さす舟路は 立つ波荒し  
(合) 心せよや 日頃のみ教へ胸にしめて  
(在) 山路を舟路を たどりまはせ  
(合) 逃げき行く手も 赤あらしあ、さきくいませ  
あ、ささらば。

大正十四年二月一日印刷

原田彦四郎

原田彦四郎  
印刷所 樂譜印刷研究所  
有代表者 大橋利東  
静岡市東鷹匠町五二

發行所 成樂會  
静岡市東鷹匠町五二  
振替名古屋一〇二四八番

事務所 東京 中井博士邸内 原田  
東京 中井博士邸内 原田

原田

